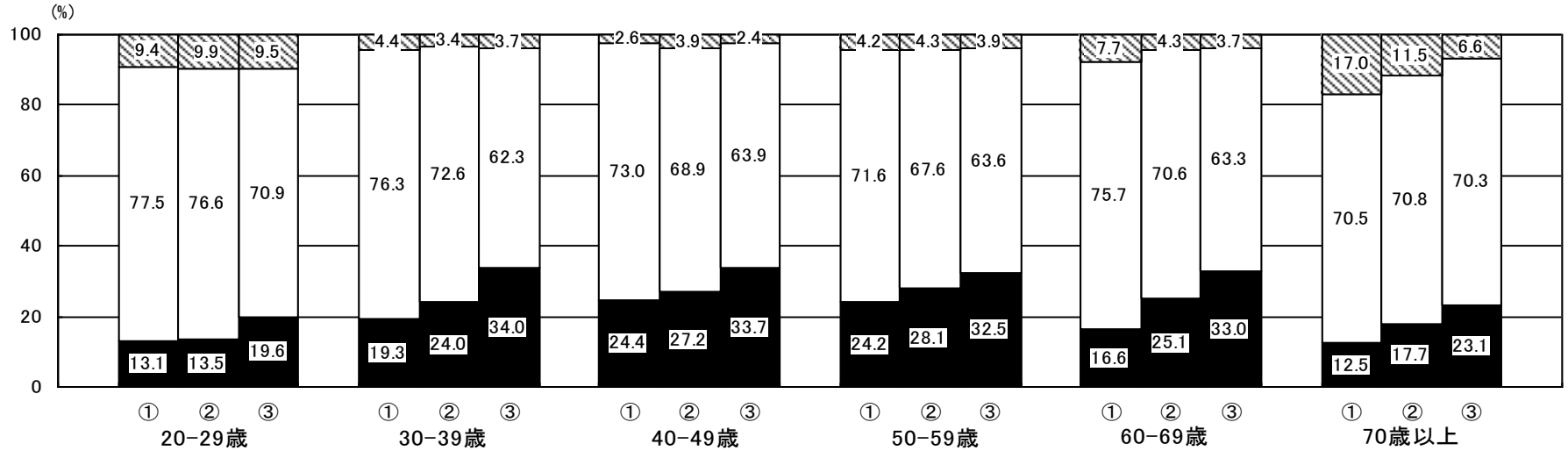


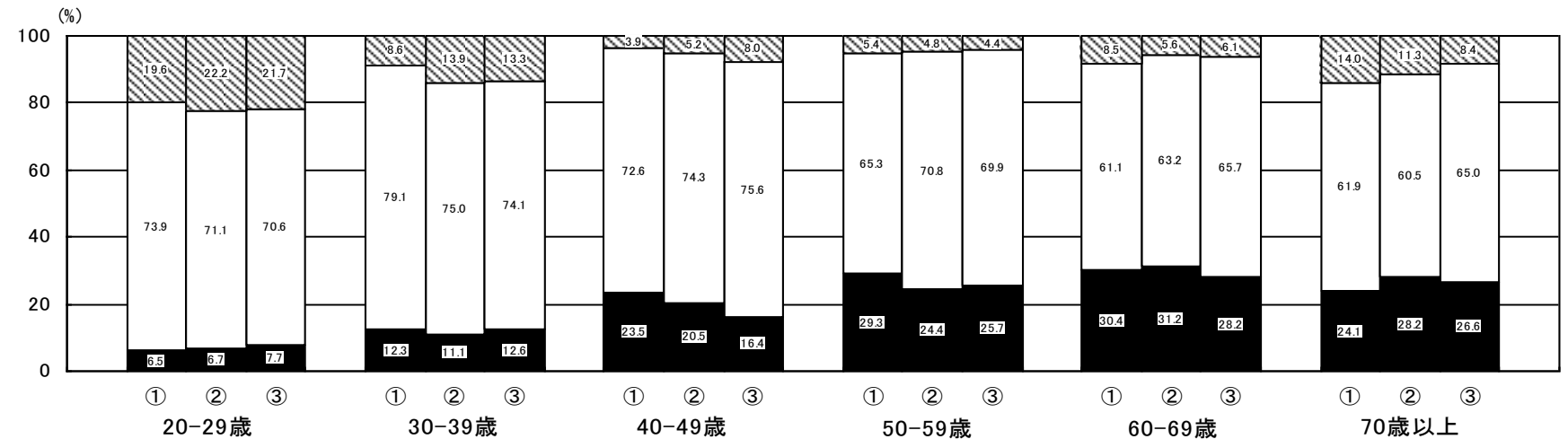
# 肥満の出現率の推移(20歳以上、性・年齢階級別)

男性は、いずれの年齢階級においても、  
肥満者の割合が20年前(昭和61年)、10年前(平成8年)と比べ増加。

男性



女性



①20年前(昭和61年) ②10年前(平成8年) ③平成18年

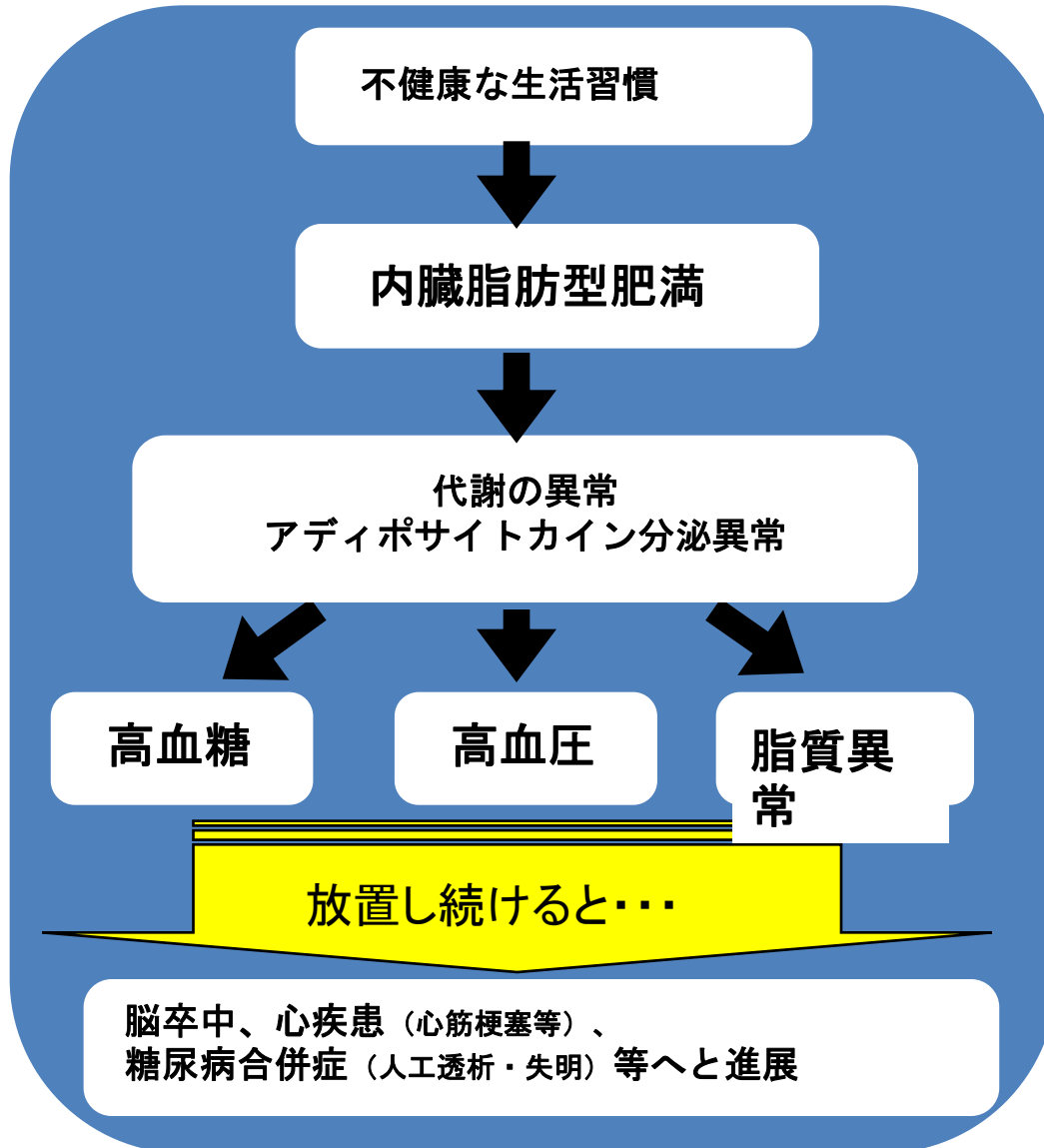
■ 肥満者 □ 普通体重 □ 低体重(やせ)

(BMI $\geq$ 25) (18.5 $\leq$ BMI<25) (BMI<18.5)

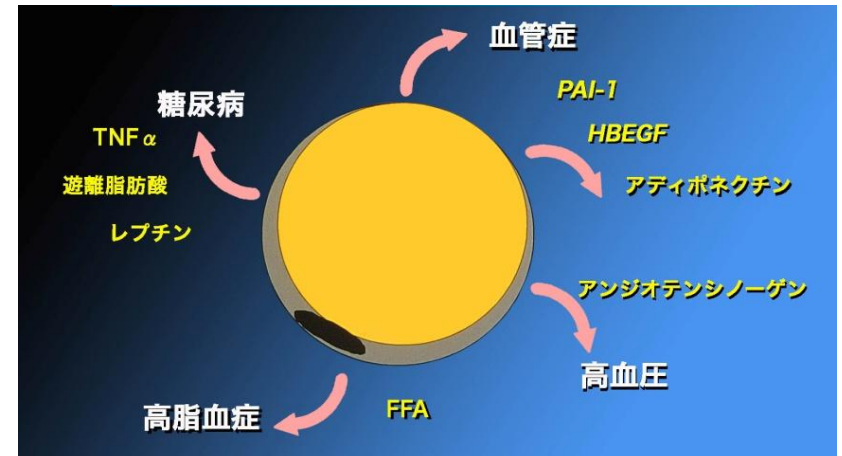
参考) 平成18年国民健康・栄養調査

# メタボリックシンドロームの疾患概念の確立

～ 脳卒中や心疾患の発症を予防するカギとなる考え方が提唱されている ～

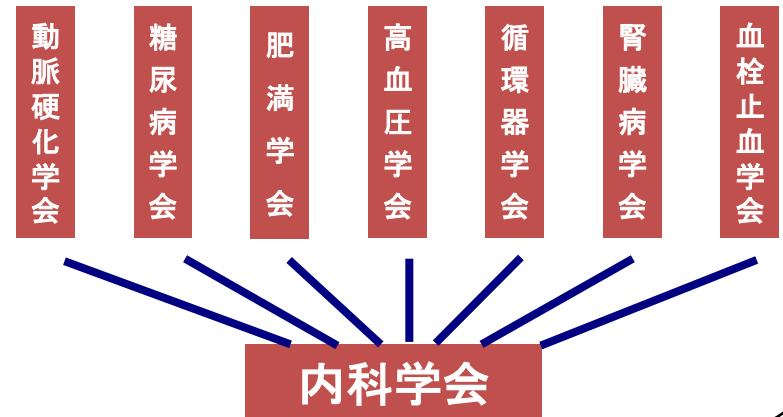


○脂肪細胞から多彩な生理活性物質が分泌される



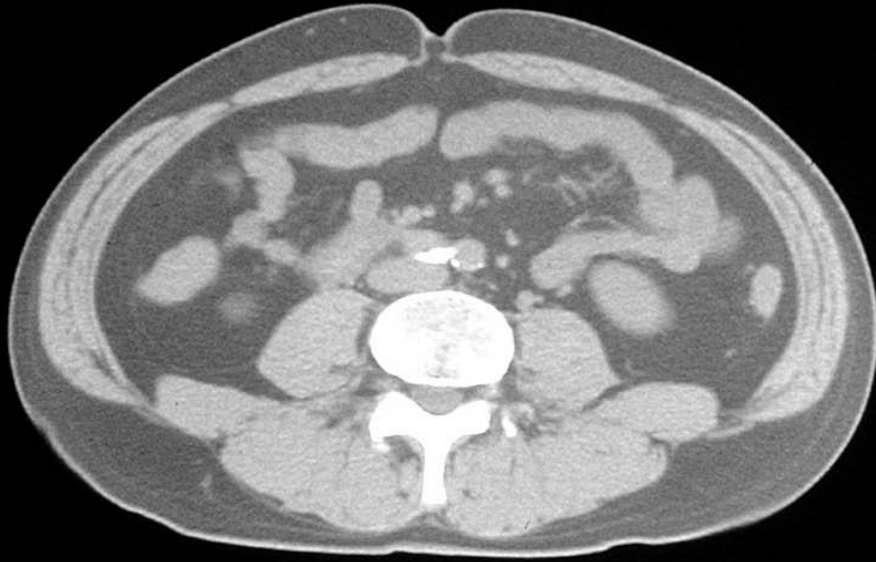
○8学会が合同で疾患概念と診断基準を策定した  
(平成17年4月 日本内科学会総会で公表)

メタボリックシンドローム診断基準検討委員会



# 内臓脂肪と皮下脂肪

48歳 男性



56歳 女性



腹囲 (cm)

**86.5**

**90.5**

内臓脂肪(cm<sup>2</sup>)

**155**

**81**

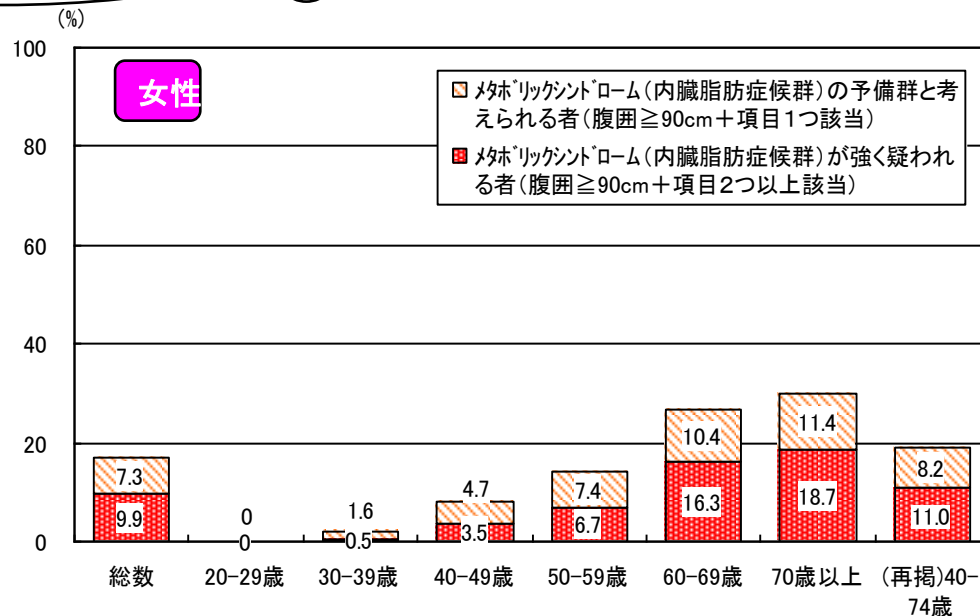
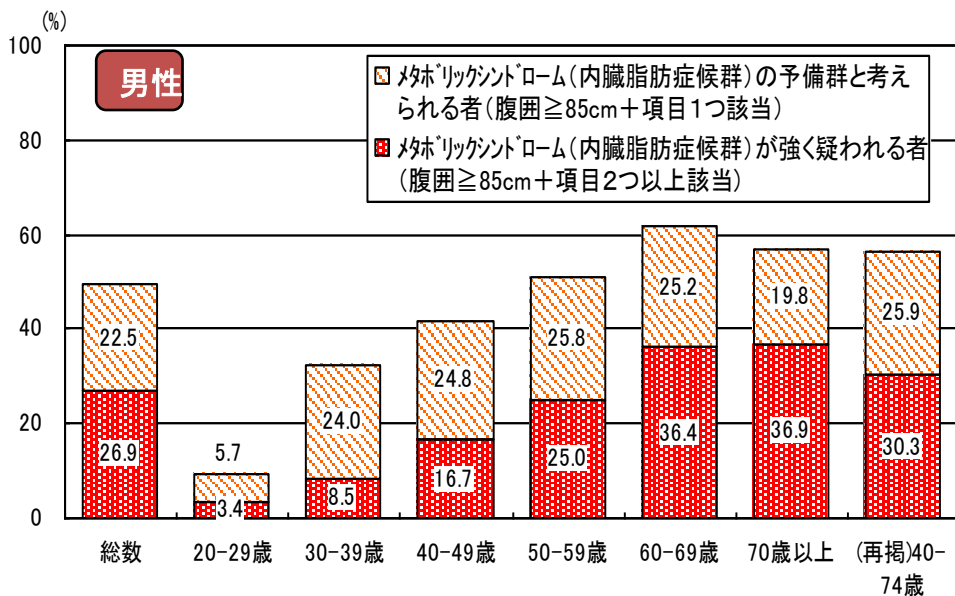
皮下脂肪(cm<sup>2</sup>)

**118**

**308**

# メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群) 該当者・予備群の状況

40~74歳でみると、男性の2人に1人、女性の5人に1人が、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者(該当者)又は予備群と考えられる者であり、**該当者数 約1,070万人** **予備群者数 約940万人** **併せて 約2,010万人** と推定された。



## メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者

腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上で、3つの項目(血中脂質、血圧、血糖)のうち2つ以上の項目に該当する者

## メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予備群と考えられる者

腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上で、3つの項目(血中脂質、血圧、血糖)のうち1つに該当する者

(参考)平成18年の推計者数 : 該当者数 約960万人、予備群者数 約980万人、併せて1,940万人

(厚生労働省

平成19年国民健康・栄養調査結果)